

巻 頭 言

学長 小林 素 文

愛知淑徳学園創立70周年の記念事業として昭和50年に開学された本学も本年で22年目となりました。

現在は2学部・2研究科体制となりましたが、こうした発展は開学以来本学を支えてきた文学部における堅実な教育と研究活動の礎の上に生まれたものです。今後とも文学部の教育内容の充実と教員各位の活発な研究活動を期待したいと存じます。

本年はこれまで本学を支えてこられた文学研究科長の樋口芳麻呂教授、国文学専攻の稲垣富夫教授が退職されます。両先生の長年にわたる真摯なご研究と教育活動に心より敬意を表し、本論集を記念論集と致します。樋口先生、稲垣先生の本学への多大のご功績に感謝するとともに、今後の益々のご健勝ご活躍をお祈り致したいと存じます。

関係各位におかれましては、本論集がさらに実りあるものとなるべく、温かい、しかし厳しいご批評とご指導をお願い申し上げ、巻頭の挨拶と致します。